

日研トータルソーシング コーポレートブック

BRIDGE

VOL. 02 SEPTEMBER
2021



特集

建設業界の
未来を支える
日研の施工管理技術者

TOPIC

信州・北上に
テクノセンター新設

グループ
企業紹介

アビリティーニッケン

TOPIC

ロボティクス事業部
サービスサイト開設

設立40年特設サイト
コンテンツ更新

特集

建設業界の 未来を支える 日研の施工管理技術者

都市の再開発やインフラ整備等、高まり続ける建設需要の一方で、現場の慢性的な人手不足が建設業界の問題となっています。今号ではそうした状況に対応する、日研トータルソーシングの施工管理技術者派遣を特集します。

人材不足が叫ばれる建設現場に、施工管理技術者を派遣する日研トータルソーシング。法改正によって業界に変革がもたらされようとしているなかで、新たに求められる人材も見えてきました。弊社コンストラクション事業部の長野岳洋が実情を語ります。



日研トータルソーシング
コンストラクション事業部 次長

長野 岳洋

Takehiro Nagano

変革する建設業界に挑む、日研コンストラクション

工事をゴールへ導く 施工管理技術者

コンストラクション事業部では、建設現場を対象にして施工管理技術者の派遣を行っています。「施工管理」の業務は、工程管理、品質管理、原価管理、安全管理の4つに大別できます。1つ目の工程管理は、建設工事が納期までに終わられるようスケジュールを管理すること。2つ目の品質管理は、建築物がクライアントから求められている品質や法律で定められた基準を満たしているかを管理すること。3つ目の原価管理は、予算の範囲内で工事を終わられるように資材や人件費などの原価を管理します。最後の安全管理が最も重要で、機材や工法、作業員の健康状態などを日々念入りにチェックして、事故のない安全な作業環境を確保します。

これらの業務からもわかるように、

施工管理技術者は、いわば現場監督といったところ。マンション、商業施設、戸建て住宅など、分野を問わず建設現場に欠かせない人材なのです。

リーマンショックからの 再生を見せる建設業界

コンストラクション事業部が本格始動したのは、2015年から。建設業界がリーマンショックからの持ち直しに向かう時期と重なります。国土交通省のデータによると、リーマンショック直後の2010年、民間・政府の建設投資額は約41兆円にまで落ちこみました。これは、1992年のピーク時と比較すると半分以下にあたる数値です。その後、政府のテコ入れや東日本大震災の復興事業、東京五輪に向けた建設ラッシュなどが続き、徐々に好転の兆しを見せています。もちろん、新型コロナウイルスの影響も無視することでは

きませんが、建設業は生活インフラと切っても切れない関係。今後、市場の縮小はあっても仕事がなくなることはないでしょう。

深刻化する人材不足 55歳以上が全体の3割に

需要が尽きない建設業界ですが、多くの課題に直面しています。とくに人材不足は深刻。1997年の最盛期には約685万人いた建設業就業者も、現在は約500万人まで減少しています。高齢化も進んでおり、年代ごとの構成で見ると55歳以上は全体のおよそ3割。ほかの産業と照らし合わせても非常に高い割合です。私が知るかぎりでは、70歳を過ぎてもお現場に立っている技術者がいるほど。

逆に働き盛りの29歳以下は1割程度しかいません。逼迫した状況は、6倍を超える有効求人倍率からも読み



東京技術センター。測量研修の様子。

日研の技術センターとは

日研トータルソーシングでは、「技術センター」を設け、スタッフの研修を行っています。施工管理に関する研修施設は東京・大阪が先行していましたが、2021年10月には広島にも新設される予定です。こちらの施設は、プラント事業に特化した研修内容となっており、講師も現場経験者を起用。座学や実技などのカリキュラムを通じて、施工管理の基礎を学べます。

取れるでしょう。業界全体が人材を渴望しているわけです。これでは、ベテラン勢が定年退職すると現場は骨抜き状態になりかねません。

なぜ、建設業界は人材不足に陥ったのか。様々な要因が考えられますが、担い手となる若者たちに、“きつい・きたない・危険”という昔ながらのネガティブな印象を持たれていることが大きいでしょう。

しかし、そういった環境も改善されようとしています。2024年を目途に、建設業界にも改正労働基準法の「時間外労働の上限規制」が適用されるのです。これにより、時間外労働と休日労働の合計が「月100時間未満」「2～6ヶ月の平均でいずれも80時間以内」といった規制が設けられることに。現場は際限のない時間外労働から解放され、マイナスイメージを払拭するきっかけにもなるでしょう。

現場に1人でも多くの 施工管理技術者を

当然のことながら、施工管理技術者も多くの現場で求められています。大手建設企業であれば技術者の育成も可能かもしれませんが、なかには派

遣会社に頼らざるを得ない建設企業も少なくありません。そこで、我々は一人数でも多くの技術者を現場に送り届けるべく、研修制度を設けて人材確保に取り組んでいます。

研修生は20代の若者が中心で、ほとんどが業界未経験者です。東京・大阪にある技術センターで、一定期間にわたって建物の設計図を作図するソフトウェア・CADの使い方や測量の方法などを学びます。

しかし、技術以上に大切なことがあります。それは仕事への向き合い方です。施工管理技術者が能動的に動かなくては、計画通りに工事は終わりません。だから、講師たちは仕事への意欲を高めるコミュニケーションを心がけ、研修生に接します。

現場に出れば技術面や人間関係などで悩むこともあるでしょう。そういったスタッフの相談窓口として、コンストラクション事業部では、ES(従業員満足度)推進室を設置。会社一丸となってフォローに徹しています。

改正法で求められる 施工管理の支援役

また、構想段階ではありますが、施

工管理技術者が担う予算管理や書類作成といった内勤業務の一部をサポートする職域の派遣事業も、展開していく予定です。今後、残業時間が制限されることで、現場により高い生産性が求められるようになれば、需要も一気に跳ね上がるでしょう。社会進出を目指す女性やまだまだ働きたいシニア世代の受け皿としても大いに期待されています。こうした時代の流れを敏感にキャッチして、変わりゆく建設業界に最大限の価値を提供するのが日研トータルソーシングの役割です。

長野 岳洋
2000年9月入社。コンストラクション事業部の次長としてゼネコン等への営業を担う。関東圏内の事業所所長などを経て現職。



施工管理の仕事と日研コンストラクションの資格取得支援

施工管理の仕事と資格

一口に施工管理といっても工事内容によって業務は様々。資格も工事業務ごとに存在します。ここでは代表的な工事内容と施工管理技術者の仕事、関連する国家資格を紹介します。

建築 施工管理



建築工事は、基礎工事から躯体（建築の枠組み）の組み立て、内外装の仕上げ、防水工事という多岐にわたる工程を経て完成します。全体のプロセスを把握しながら多くの技術者や職人と協力し現場を管理するため、コミュニケーション能力やリーダーシップが求められます。

建築施工管理技士1級・2級

土木 施工管理



土木施工管理は道路、トンネル、河川、ダム、上下水道、橋梁など社会インフラの基盤整備に携わる仕事です。地震や台風、洪水などの自然災害への対策・復旧事業や地盤改良工事などもあり、そのほとんどが公共工事のために、原価管理がより重要な業務になります。

土木施工管理技士1級・2級

管工事 施工管理



給排水、空調設備、ガス配管、ダクト、衛生設備などの設備工事の現場管理です。配管は通常目につきにくい部分に設置されていますが、不備や欠陥があると大きな問題になります。また大きな設備の場合、複雑な設計になり、扱う配管の種類も多くなるため綿密な工程管理が必要です。

管工事施工管理技士1級・2級

電気工事 施工管理



照明や変電、発電、送電、信号、鉄道、非常用電源といった電気設備に特化した工事の管理を行う仕事です。建築・土木・プラントなど様々な現場で電気関連のスペシャリストとして、工事を担うことになります。人材や工程の管理能力に加え、電気工学の専門知識が必要とされます。

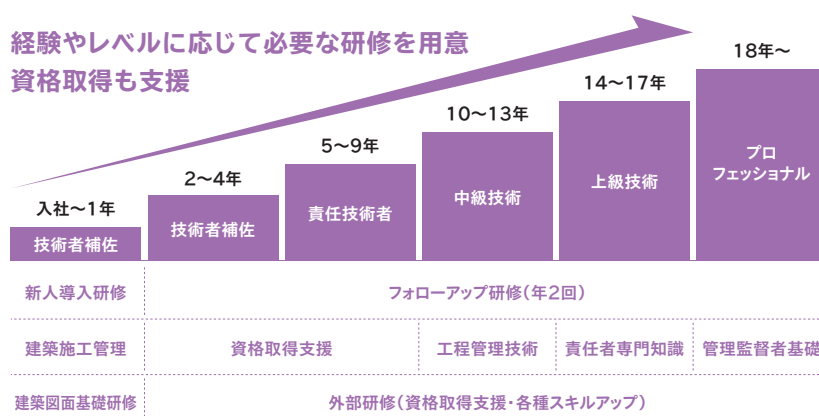
電気工事施工管理技士1級・2級

スタッフのキャリアアップを サポートする資格取得支援

OJTによる実務研修と並行して、国家資格対策や外部研修を定期的に用意しています。

充実した教育制度で、スタッフのキャリア形成を長期に渡りサポートします。

経験やレベルに応じて必要な研修を用意 資格取得も支援



日研でつかった自分たちの進むべき道

日研トータルソーシングでは現在、様々な建設現場で施工管理技術者が活躍しています。彼らはどのような理由で日研を選び、日々の業務からいかにして達成感を得ているのでしょうか。入社数年目の若手社員が思い思いの意見を交わしました。



山田 航平
2020年度新卒入社



田中 大五
2018年5月入社



佐野 真理香
2020年度新卒入社

未経験からの出発 研修を経て建築業界へ

——入社の際を教えてください。

山田／大学では遺伝子について学ん

でいたんですが、新しい世界を見たいという思いから、建築業界に進路を定めました。ひとつの目標に向かって様々な職人が協力しあう環境も魅力的に映りましたね。

佐野／私も好奇心に背中を押されて。アルバイト先や大学などの環境とは最も離れた職業だったので周囲も驚いてました。

田中／私の場合は、雑工場のアルバイトがきっかけです。現場を仕切る施工管理技術者が格好良くて、いつしか憧れの存在に。

日研トータルソーシングの就職説明会でそのことを話したら、担当者が「うちで夢を叶えま

せんか？」と受け入れてくれたんです。もう「日研しかない！」と思いましたね。佐野／私が説明会に参加したときも丁寧に対応してくれて、安心感がありました。

——現場配属の前にどのような研修を受けたのでしょうか。

佐野／入社当時は、コロナ禍の真っ只中だったので、リモートを織り交ぜながら研修が進められました。

実機に触れることは少なかったのですが、講師の方がリモートなりに写真や動画などの教材を工夫してくれて、現場に出ても遅れをとるようなことはありませんでした。

山田／製図ソフトのCADや測定の仕方など、現場で生き残るために必要な知識や技術を身につけました。床を指す「スラブ」や手押し車を意味する「ネコ」といった専門用語を学べたのも大きかったです。



田中／私の代は、すべて対面講座でしたね。建築関連のフォーラムに連れて行ってもらったのも印象的。センターを飛び出して、ここまでやってくれるのかと驚きました。

山田／CADだけではなく手書きの製図を習う機会もあり、ノウハウを体系立てて理解することができました。

失敗・成功を重ねて 自身の成長を実感

——現在の現場について教えてください。

山田／研修を終えた2020年5月より、研究開発施設の新築工事に携わっています。大手ゼネコンの傘下にある三事務所で進められるビッグプロジェクト。設備部門に所属されたのですが、初めての現場だったこともあり、わからないことだらけ。職人さんや監督など、いろいろな人に話を聞き回ってノウハウを掴んでいきました。あれはまさに“修行”でしたね(笑)。

今は大分慣れて、後輩のフォローをする余裕もできました。

田中／私は、3年間派遣されていた現場が今年の6月に竣工を迎えたばかり。日本有数の規模を誇る高速道路工事で、派遣当初は「自分がここで何ができるんだろう」と圧倒されて、頭が真っ白になりましたよ。

佐野／ということは、土木が中心になるんですかね？ 私の派遣先は、土木・建設・住宅などを広く手掛けている静岡の総合建設会社。派遣当初の10カ月間は製紙工場の新築工事を担当しました。職人さんや監督の年代からすれば、私は娘や孫のようなもの。皆さん、親身になり指導してくれます。

——仕事をするうえで、やりがいや達成感を感じる瞬間はありますか？

山田／仕事に追われることもあるけれど、やはり完成に近づいていく建物を見ると報われた気分になりますね。

佐野／最近のことで言えば、コンクリート数量の積算とか。設計図をもとに、現場で使うコンクリートの数量をぴったり導き出せたときはまわりも「佐野ちゃん、やるじゃん！」って。

田中／自分の成長を感じる機会が多い仕事だと思います。最初は、監督からダメ出しをされるけど、勝手がわかってくるとこちらの提案がすんなり通る。派遣期間の3年間で技術的にも精神的に成長できました。



スキルアップの近道 資格取得で自己研鑽

——資格取得の予定はありますか？

佐野／「2級建築施工管理技士」の学科試験に合格したので、あとは実務試験を残すのみ！仕事の合間を利用して勉強に励みたいです。

山田／私がチャレンジしたいのは「電気工事施工管理技士」の資格。取得できれば、施工管理上の技術責任者に一步近づけます。

田中／これから1年半の実務経験を積みれば「2級土木施工管理技士」の受験資格を得られます。まずはそこから狙っていければと思います。

——最後に今後の展望を教えてください。

田中／3年間同じ現場だったので、とにかく色々な現場を見て見識を広めたいです。

山田／私も実務経験を少しでも増やしたいですね。やるべきことを過不足なくこなす。それが理想です。

佐野／一つでも多くの技術を習得したい。いずれは、工事の工程を任せられるまでになりたいです。



未経験から専門技術が身につけられる



現場のニーズに対応し テクノセンターを新設

未経験から専門技術が身につけられるテクノセンター。東北から九州まで全国10施設あり、スタッフのキャリア形成を支援しています。全国一律で行っている研修の他、各地域の企業のニーズにあわせた研修ができるよう設備を整えています。今年4月に北上テクノセンターと信州テクノセンターが新設されました。

北上テクノセンター

岩手県北上市若宮町1-1-24



東北地方の保全スタッフの育成拡充に伴い新設されました。保全業務のスタンダード研修からステップアップ研修、半導体研修などを行っています。産業ロボットを保有しているため実際に機械を動かしての実習も可能です。

信州テクノセンター

長野県上伊那郡箕輪町中箕輪1544



模擬クリーンルーム、エアシャワー、半導体テスター等の設備を保有しています。そのため、保全スタンダード研修の他、精密機器メーカー向けの研修や半導体・電子回路の特別研修も行えます。

ロボティクス業界躍進の土台作りに貢献する



サービスサイト開設 ロボティクスサービスが より身近に

企業のロボット導入をサポートするロボティクス事業部。今年4月にサービスサイト「NIKKEN ROBOTICS」を開設しました。カスタマーサービス・導入サポート・技術派遣・教育訓練といったサービスメニューを紹介するとともに、システムインテグレーター企業へのサポート体制、オペレーションオフィスの概要などを掲載。今後ますますの飛躍が見込まれるロボティクス業界を縁の下で支えるべく事業を推進していきます。



<https://www.nikken-totalsourcing.jp/robotics/>

日研が想像する未来の働き方

設立40年特設サイトに「未来」がテーマの新コンテンツ

日研トータルソーシングは2020年設立40年を迎えました。40年を振り返り、またこれからの未来を考えるために、様々な記念コンテンツを企画しています。今年3月には、10年後、20年後の未来を描いた「日研ミライタウン」を設置。各職種について今の働き方と未来の働き方を分野ごとに紹介したお仕事図鑑カードや、「未来」をテーマにした有識者と弊社担当者による対談コーナーや弊社役員のメッセージなどを掲載しています。ぜひご覧下さい。



https://www.nikken-totalsourcing.jp/40years_site/



概要

社名

株式会社
アビリティーニッケン

本社

東京都大田区西蒲田
7-8-3

設立

1989年5月

事業内容

人材派遣
紹介予定派遣
人材紹介
業務請負

事務系職種の派遣と紹介を中心に 30年の実績

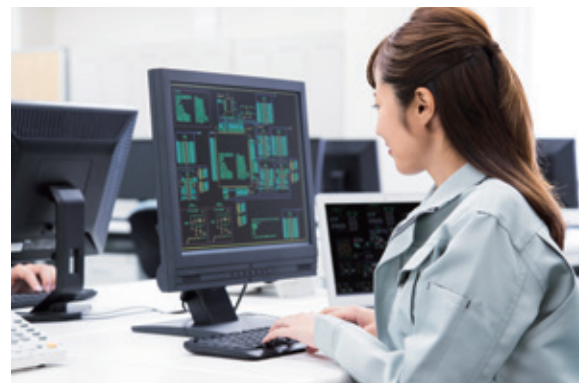
日研グループの中で、事務系部門を主とした人材派遣・人材紹介会社として30年の実績があるアビリティーニッケン。独自の教育制度により高いヒューマンスキルを持った人材を育てることに強みを持っています。またグループ会社との連携により、事務系職種のみならず、多種多様な職種に対応した人材ソリューションを展開します。

ヒューマンスキルを高める 独自の教育研修とeラーニング

社会人マナー、自己学習能力、仕事に対する意識、コミュニケーション能力などのヒューマンスキルを高める人材教育が特徴。また、eラーニングを含む様々な講座を設けスタッフのキャリア形成を支援します。

キャリアアップ講座の内容(一部)

ビジネス 基礎講座	ヒューマンスキル/ビジネススキル
OA研修	エクセル/ワード/パワーポイント
オフィスマナー講座	電話対応、ビジネス会話、 ビジネス文章、クレーム対応
IT研修	プログラミング、HTML、CSS、 Javascript、ネットワーク、PHP
CAD講座	製図基礎、AUTOCAD、 建築CAD検定3級講座



幅広い職種の人材を紹介・派遣し 企業のニーズに応える

オフィスワークのなかでも、一般事務、経理事務、医療事務、OAオペレーター等といった事務系職種はもちろん、建設系設計職やITエンジニア、クリエイティブ職種といった技術職の派遣や紹介にも強みを持ち、企業に最適な人材を提案しています。

会社概要

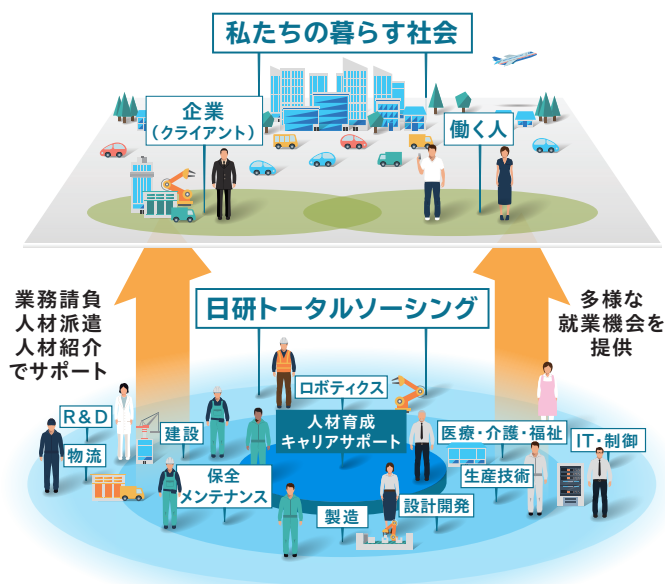
概要

商号	日研トータルソーシング 株式会社	〒144-0051
設立	1981年4月1日	東京都大田区西蒲田7-23-3 日研第一ビル
資本金	5,000万円	全国拠点数186箇所(2021年4月現在)
事業内容	業務請負事業/人材派遣事業/人材紹介事業 労働者派遣事業許可番号 派13-060060 有料職業紹介事業許可番号 13-ユ-060049	

グループ会社

国内	海外
株式会社 アビリティーニッケン	Nikken Thailand Co.,Ltd.
株式会社 アルテクナ	World Asia Solution Co.,Ltd.
株式会社 日本タクト	Staffers Recruitment Consultants Co., Ltd.
サンワ 株式会社	NIC Global Sourcing Joint Stock Company
株式会社 インターテクノ	
アルムホールディングス 株式会社	
アルムメディカルサポート 株式会社	
株式会社 日研環境サービス	

日研トータルソーシングの事業領域



多様性が広がる時代に豊かな社会を切り拓く確かな人材ソリューション

日研トータルソーシングは、約40年間にわたる歴史のなかで社会のニーズをいち早く汲み取ってきました。

主力だった請負事業から人材派遣・人材紹介事業にまで事業拡大し、急速な技術革新に追従できる人材のキャリア育成にも取り組んでいます。

予測のできない不確実な時代だからこそ、これまで以上にお客様と働く人に寄り添い、社会に新たな価値を創造します。

